

## 横浜能楽堂の大規模改修事業について

横浜市公共建築物天井脱落対策事業計画に基づき、横浜能楽堂の天井脱落対策工事を実施します。この工事は長期休館を伴うため、併せて長寿命化対策やバリアフリー対応の工事を行います。

今年度は基本設計を行っており、その検討状況について、ご報告します。

### 1 主な改修内容

#### (1) 安全性に関わるもの

- ア 本舞台が設置されている客席（見所）<sup>けんしよ</sup>の天井脱落対策
- イ 受変電設備・自家発電設備等電気設備更新
- ウ 空調設備更新
- エ 消火設備等更新

#### (2) 施設運営に関わるもの

- ア 照明LED化
- イ トイレ等衛生設備更新
- ウ 舞台音響・舞台照明設備更新
- エ 内装更新及び屋上防水

#### (3) バリアフリー向上を図るもの

- ア 多目的トイレの機能拡充
- イ エレベーターのサイズ拡張

### 2 本舞台（横浜市指定有形文化財）の工事中の扱い

横浜市指定有形文化財である本舞台は解体せず、養生等で保護し、工事中も適切に保存します。

### 3 工事に伴う施設休館期間

令和6年1月から令和8年6月頃までの約2年6か月間、全館休館の予定です。

### 4 今後のスケジュール

来年度は実施設計を行い、その後3か年度にわたって工事を実施し、令和8年度にリニューアルオープンの予定です。

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
内 容	基本設計	実施設計	工事発注 工事	工事	工事	開館準備 リニューアル オープン

## 【参考①】施設概要

所在地	西区紅葉ヶ丘 27 番地 2 (掃部山公園内)
施設規模	鉄筋コンクリート造 地上 2 階地下 2 階建
延床面積	5,695.93 m <sup>2</sup>
施設内容	本舞台「旧染井能舞台」(横浜市指定有形文化財 平成 8 年 5 月 20 日指定)、見所 (486 席)、第二舞台ほか
竣工日	平成 8 年 (1996 年) 3 月 11 日
開館日	平成 8 年 (1996 年) 6 月 28 日



## 【参考②】本舞台「旧染井能舞台」の歴史

横浜能楽堂の本舞台(旧染井能舞台)は、染井能舞台として長く親しまれてきた能舞台を復元したものです。

明治 8 年 (1875 年) 東京・根岸 (台東区) の旧加賀藩主前田<sup>なりやす</sup>齊泰邸に屋外能舞台として建てられ、その後、大正 8 年 (1919 年) に東京・染井 (豊島区) の松平頼寿邸<sup>よりなが</sup>に移築され、昭和 40 年 (1965 年) まで広く利用されてきました。

昭和 40 年 11 月に解体され、全部材が水道橋能楽堂の中に保存されました。この部材全てを横浜在住の能楽師であった田辺竹生氏<sup>たけお</sup>が譲り受け、昭和 54 年に本市に寄贈していただきました。